

埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

第47回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：令和元年12月1日(日)

会場：大宮ソニックシティ

テーマ：「飛翔」

サブテーマ：－『進化』から『昇華』へ－



第47回埼玉県医学検査学会
運営部長 北川 裕太郎

先日、台風19号の影響で埼玉県内でも多くの被害がありました。会員の皆様やご家族の中にも被害にあわれた方もいるかと思えます。一日も早い復興を祈るとともに、心よりお見舞い申し上げます。

さて、学会の準備も残り1カ月を切り佳境に入ってきました。準備に際し多くの方々のご協力のおかげでここまで来ることができました。当日まで気が抜けませんが、実行委員一同、より一層一丸となって学会当日を迎えたいと思っております。

今回は学会の企画や当日の運営について紹介したいと思います。

まず、市民公開講演は「冬の健康管理；節約・時短レシピ～それ、感染しませんか？～」と題し、埼玉医科大学病院の前田卓哉先生にご講演いただきます。肌寒くなったこの時期に気を付けなければいけない健康管理の秘訣を教えていただけたと思いますので、是非ご家族やご友人にお声掛けください。より多くの方の参加をお待ちしています。また、講演前には冬を乗り切る感染対策として「手洗い講座」も用意していますので、併せてご参加ください。

今回、テーマの「飛翔」に因んで多くの新しい学会企画を用意しています。

一つ目は埼玉県診療放射線技師会のご協力のもと成立した当会とのコラボレーション企画です。「肝腫瘍における各モダリティのアプローチ法(肝癌を中心に)」という題でエコー、CT、MRIを専門とした3名の先生方にご講演いただきます。この機会に他職種との繋がり方を見つけてみてはいかがでしょうか？

その他にも各研究班のご協力を得て行われる教育講演や、RCPCではサブテーマにあやかり、若手向けの進化編と、医師による視点を加えた昇華編があり、どれも今後の知識向上に役立つものばかりです。

よいとのことであった。また、キャビネットの一番奥には気流の吸い込み口があるため、物を置いて塞ぐことがないように注意があった。安全キャビネットは病原体等の封じ込めの大事な手段である。正しく使用することは、自分の身を守ることにもつながると感じた。

(文責：今井英美)

テーマ **心臓超音波検査研修会 確認して役立てよう！** **「ガイドラインに基づく心エコーの進め方・考え方」**

主催 生理検査研究班

実施日時：令和元年9月29日 13時00分～15時00分

会 場：自治医科大学附属さいたま医療センター 南館2階講堂 点数：専門教科－20点

講 師：戸出 浩之（獨協医科大学埼玉医療センター）

参加人数：会員90名

出席した研究班班員：早川勇樹 瀧澤義教 家城正和 高梨淳子 田名見里恵 武藤由里子

研修内容・感想など

今回の研修会では、戸出氏に心臓超音波検査研修会 確認して役立てよう！「ガイドラインに基づく心エコーの進め方・考え方」というタイトルで講演をしていただいた。

まずは、心腔計測におけるガイドラインから、それぞれの正しい計測部位と時相、注意点についてお話があった。特に左室内腔計測については現在2Dでの計測が主流になってきており、また左室駆出率の計測も2D画像のフルオート計測、更には3Dエコーによる計測の時代が近づいて来ているが、その問題点についても説明があった。

次に、左室拡張不全の存在判断のアルゴリズムについてもお話があった。左室駆出率が正常または、低下した際のアルゴリズムは簡潔になったが、判定に用いる値を正確に出すことが求められ、さらに算出された計測値が他の要因によって修飾されていないか考える必要があるとされた。

弁膜症の評価としては、僧帽弁閉鎖不全症と高齢化によって患者が増えてきた大動脈弁狭窄症についてお話された。

どのアルゴリズムを利用するにしても、正しい計測値が無ければ正しい判断ができず、そのためには計測する断面や時相、サンプルポイントの位置、ビームとの角度など基本的なことに注意し測定する必要があり、また、そのようにして導き出された計測値を使用しても問題がないか、他の計測方法で測定した値を使用した方が良いのか考える必要がある。さらに患者症状や他検査の数値、指標と心臓超音波の結果が合致しているのか判断する必要があるとまとめて下さった。

今回の研修会はそれぞれのガイドラインについて変更点、注意点も踏まえて分かりやすい解説で、日常検査の内容について再確認させられる研修会であった。

(文責：早川勇樹)



『精度保証施設認証』の更新、 新規加入のお知らせ

日本臨床衛生検査技師会、日本臨床検査標準協議会では、「標準化され、かつ、精度が十分保証されていると評価できる施設」に対し、精度保証施設として認証する制度を行っています。現在、47都道府県で831施設が認証され、埼玉県では39施設が取得しております。

この認証は2年毎の更新となり、令和元年10月1日(火)～11月29日(金)が更新期間となります。対象施設：認証番号18-〇〇〇〇の施設となります。承認施設は今一度ご確認ください。

また、新規申請もこの時期となります。申請条件を下記に示しますが、埼玉県では加入施設以外に、約70施設が申請可能な状態にあります。必要書類も日臨技ホームページよりダウンロードでき、意外と簡単に作成できます。一度ご検討されてはいかがでしょうか。

【申請基準】

1. 日臨技主催の精度管理調査に、申請時より遡り2年以上連続参加している。
2. 施設内で実施している項目は全項目、臨床検査データ標準化事業に参加している。
3. 日臨技精度管理調査の結果で、許容正解項目が2年連続90%以上である。
4. 都道府県技師会主催の精度管理調査に申請時より遡り2年以上参加し、2年連続80%以上である。
5. 基準的測定法が確立している項目は、原則として標準化を行い実践している。
6. 認証範囲対象項目は全項目、内部精度管理を行いXbar-R管理図等を作成しその記録がある。
7. 内部精度管理については、明らかに許容範囲を超えた異常値が出た場合の対応マニュアルを作成している。
8. 外部精度管理調査（日臨技主催および都道府県主催）評価結果で許容正解を外れた項目については、原因の究明、是正処置、監督者の確認等の記録（様式）がある。
9. 検体検査室に常勤の臨床検査技師がいる。
10. 申請者または精度管理責任者が、日臨技生涯教育研修制度を修了している。あるいは審査基準に定める単位を取得している。
11. 精度管理に関連する研修会等に毎年1回以上参加している。



埼臨技事務所の年末年始休暇について

令和元年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)
上記期間は埼臨技事務所がお休みになります。
1月6日(月)より通常業務となります。



祝 砂川進氏 瑞宝双光章 受章

当会名誉会員であられる 砂川進 元埼臨技会長 の瑞宝双光章が11月3日に公表されました。
会として非常に喜ばしきことであり、心よりお慶び申し上げます。

令和元年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第7回 理事会議事録

日 時：令和元年10月10日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)神山 矢作 松岡 小山 濱本
奈良 長岡 小島 神嶋 菊池
長澤 濱田 伊藤 笹野 石井
神戸 山口 猪浦 鳥山 阿部
久保田

(監事)遠藤 細谷

欠 席：(理事)岡田

本日の理事会の出席者は23名であった。理事の出席者は21名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (令和元年9月12日～令和元年10月9日)

9月12日(木) 令和元年度第6回理事会：

神山、岡田、松岡、小山、濱本、奈良、長岡、小島、神嶋、菊池、濱田、伊藤、笹野、石井、神戸、山口、猪浦、阿部、久保田、遠藤、細谷

9月14日(土) 第35回日本診療放射線技師学術大会：神山

9月17日(火) 検査と健康展打ち合わせ：
長澤、濱田

9月18日(水) 第19回わらび健康まつり第3回実行委員会：伊藤

9月20日(金) 第47回埼玉県医学検査学会第11回実行委員会：奈良、菊池

9月25日(水) 第14回深谷市福祉健康まつり第2回実行委員会：笹野

9月25日(水) だより485号編集会議(メール会議)：奈良、長岡、小島、神嶋、菊池

9月26日(木) 研究班班長会議：

山口、猪浦、鳥山、阿部、久保田

9月27日(金) 日臨技支部長会：神山

9月28日(土) 日臨技理事会：神山

9月28日(土) 日臨技共済制度見直し検討WG会議：神山

9月28日(土) 会計処理作業：神戸

10月3日(木) 第19回わらび健康まつり機材搬出：
矢作、長澤

10月5日(土) 第19回わらび健康まつり準備：
矢作、長澤

10月5日(土) 臨床検査技師養成校連絡協議会：
矢作、奈良、長澤、伊藤、久保田

10月6日(日) 第19回わらび健康まつり：
矢作、長澤、濱田、伊藤

10月7日(月) 研究班会計入力作業：阿部

10月7日(月) 第19回わらび健康まつり片付け：
矢作、長澤

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 9月14日(土) 第35回日本診療放射線技師学術大会に神山会長が出席した。

2) 天皇陛下御即位奉祝埼玉県委員会より設立総会の案内が届いた。

3) 埼玉県看護協会より「第13回埼玉医療安全大会」へ神山会長臨席依頼が届いた。

2 総務部

1) 9月25日(水) 埼臨技だより第485号編集会議(メール会議)を行った。

2) 「埼臨技だより」第485号、10月15日発行予定

3) 9月2日(月) 第1回女性技師研修会講師との打ち合わせの報告書が第6回理事会に未提出であったため、報告する。

3 事業部

1) 9月17日(火) コルソにて「全国検査と健康展(埼玉会場)」の打ち合わせを行った。

2) 9月18日(水) 第19回わらび健康まつり第3回実行委員会が開催された。

3) 9月25日(水) 第14回深谷市福祉健康まつり第2回実行委員会が開催された。

4) 10月5日(土) 臨床検査技師養成校連絡協議会が開催された。

5) 10月6日(日) 第19回わらび健康まつりの開催と実務委員の派遣について三役承認されたことが報告された。

4 学術部

1) 9月26日(木)、研究班班長会議を開催した。

2) 一般検査研究班から埼玉で行った5年分のアンケート調査データの使用願を承認した。

3) 12月1月分の生涯教育プログラムを、だより10月号に同封を予定。

5 精度保証部

特になし

6 会計部

1) 令和元年度正会員費9名45,000円、入会金9名分9,000円 合計54,000円の入金があった。

2) 日臨技より生涯教育推進研修会助成金

50,000円×2、48,000円×1 合計148,000円の入金があった。

3) 株式会社石井印刷に埼臨技だより第484号印刷代135,497円を支払った。

4) 「地域ニューリーダー育成研究会」参加費30,000円を支払った。

7 精度管理委員会

1) だより10月号にて、令和元年度、埼玉県医師会精度管理調査の速報値を発送予定。

8 一都八県会長会議

特になし

9 日臨技関甲信支部

特になし

10 日臨技

特になし

11 第47回埼玉県医学検査学会

1) 9月20日(金)第47回埼玉県医学検査学会第11回実行委員会が開催された。尚、前回理事会にて報告した臨時実行委員会議事録も資料として添える。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

1) 会員動向(令和元年度分)

令和元年10月1日現在
会員数 3,178名[平成30年度会員数3,027名]
(新入会員 278名)
賛助会員 81社[平成30年度 82社]
承認された。

2) 埼臨技事務所年末年始休暇について

表記について小山事務局長より発言があり、審議の結果、埼臨技事務所の年末年始休暇は、令和元年12月28日(土)から令和2年1月5日(日)までとすることで承認された。

2 総務部

1) 第48回埼玉県医学検査学会実行委員について

表記の件について菊池学会担当理事より、発言があり、審議の結果、承認された。

3 事業部

1) 第14回深谷市福祉健康まつりの実務委員について

表記の件について長澤事業部長より、発言があり、審議の結果、承認された。

2) 令和2年賀詞交歓会の招待者について

表記の件について長澤事業部長より、発言があり、審議の結果、承認された。

4 学術部

1) 地区別研修会の開催について

表記の件について、山口部長より、令和2年3月22日(日)大宮にて1日開催を企画したいと発言があった。審議の結果、会計報告を円滑に行うことで了承された。

5 精度保証部

特になし

6 会計部

特になし

7 精度管理委員会

特になし

8 第47回埼玉県医学検査学会

特になし

Ⅳ. 議題

特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

台風15号、19号で被災された方、心からお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復興をお祈りしています。

10月22日、即位礼正殿の儀が行われました。ちょうどその時間、勤務先の食堂で昼食中でしたが、病棟の看護師さんに言われて、窓の外を見ると大きな虹が出ていました。新しい天皇陛下と新しい時代をお祝いしてくれているようで、とても嬉しく思いました。

今年は、年号が変わったり、台風が多かったり、目まぐるしいことも多いですが、これからもしっかりと地に足をつけて、前を向いて進んでいきたいと思えます。

(小島 記)

